



小川小学校

# 学校だより

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子



令和4年2月24日 No.35

## 《2月の校長講話「泣いた赤鬼」より》

おはようございます。今日、2月4日です。

暦、カレンダーの上では立春、春が始まりました。でも、まだまだ寒い日が続きます。

寒さに負けない体にするよう、運動をして、睡眠、栄養をたくさん取りましょう。もう一つは、感染症に注意してください。正しくマスクをつける、手洗い、友だちの近くで大きな声を出さない、土日は人がいっぱい いるところには行かない、などに気をつけていきましょう。

さて、昨日は2月3日、節分でしたね。お家でも豆まきをしたでしょうか。校長先生も自分の家で、鬼の役をしました。皆さん、鬼というと何を思い出しますか。校長先生は、「泣いた赤おに」という物語を思い出します。皆さんの中にも知っている人がいると思います。

では、これから「泣いた赤鬼」のお話をします。物語の本を全部読むと時間がかかってしまうので、おおまかなだいたいのお話をします。このお話には、赤鬼と青鬼が出てきます。皆さんは、赤鬼になったつもりで聞いてください。

ある山に、人間と友達になりたいと思っている赤鬼がいました。赤鬼の家の前には、看板があり、こう書いてありました。

「心優しい鬼の家です。遊びに来てください。お茶もお菓子もあります。」

しかし、赤鬼の家には、だれも来てくれません。赤鬼は悲しみ、看板を外してしまいました。

赤鬼が落ち込んでいると友達の青鬼がやってきました。そして、青鬼は作戦をたてて、このように言いました。

「わたし（青鬼）が人間の村へ行って大暴れするよ、そこにきみ（赤鬼）がやってきて、わたし（青鬼）をこらしめる。そうすれば人間は、きみ（赤鬼）が優しい鬼であることを理解してくれるはずだ」というものでした。



作戦は無事に成功し、赤鬼の家に人間が遊びにくるようになります。赤鬼は楽しい毎日を過ごすことができました。

しかし、あの日以来青鬼の姿を見ていません。赤鬼は青鬼の家を訪ねてみました。青鬼の家の扉は締まっていた。そして、青鬼の家には張り紙が貼られていました。張り紙にはこう書かれていました。

「赤鬼くん、このまま僕と友達でいると、君も悪い鬼だと思われてしまう。僕は旅に出ます。赤鬼くんのことは忘れないよ、いつまでも友達です。」と書いてありました。

赤鬼は何度も何度もその張り紙を読み、涙を流しました。

皆さん、赤鬼になったつもりで聞いてくれましたね。

人間と仲良くなりたい赤鬼、そして赤鬼の思いを叶えてあげたいと思った青鬼。皆さんはどう思いましたか？

この感想は、自主学習で書いてきてくれるとうれしいです。待っていますよ。

この「泣いた赤鬼」は、保護者の皆様はご存じの方も多いと思いますが、この話は、人間と親交を深めたい赤鬼のために、青鬼が犠牲となって赤鬼の願いをかなえるという内容であります。

後日、3・4年生の自主学習ノートを拝見しました。児童の多くは、青鬼の自己犠牲をたたえ、友情の深さに感激しました、と言った内容の感想が多く寄せられました。小学校の道徳の授業では、「友情、信頼」の項目のための資料として使われます。

**裏面に続きます**

しかし、5年生になると事情が少し違ってきました。例えば「青鬼は、間違っただけをしたのではないか?」「青鬼がしたことを受け入れた赤鬼は、間違っただけ(判断)をしたのではないか?」と書いてきてくれた児童もいました。また、他の児童は「人をあざむいて友人を助けることは、果たして本当の友情なのか?」と書いてくれた児童もいました。

以前、私は中学校で「泣いた赤鬼」を扱った道徳授業を拝見しました(中学校でも教科書によっては「泣いた赤鬼」が扱われます)。3、4年生と同じ反応をする中学生もいる一方で、多くの生徒は5年生のような反応を見せていました。

さらに、別の観点でこの資料を読む生徒もいました。「人間と鬼たちとの関係を異文化理解や多様性社会を考えるためのモデルとして読んだ生徒」あるいは「差別を解消するための正義の問題」として読んだ生徒もいました。彼らにとって、「泣いた赤鬼」はもはや「友情」や「信頼」の物語ではないのです。

では、個々の子供たちの道徳的段階を確かめるには、どうすればよいのか。それは、子供に行為の理由を聞いてみれば分かると思います。

例えば、「なぜ他人の物を奪ってはいけないのか」と尋ねてみます。すると、低学年の児童は、「親や先生が禁じているから」あるいは「そうすれば叱られるから」といった回答が多いと思われます。しかし、成長すると「持ち主が困るから、自分が同じことをされると嫌だから」と答える子供、「盗みは犯罪だから」「それは持ち主の権利を侵害するから」といった理由を述べる子供も登場します。

小学校の「道徳科」の目標は次のように示されています。

よりよく生きる基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

児童が様々な考え方に触れ、**児童一人一人が考えたことを自分事としてとらえ**、自己の生き方について考えを深める学習にしていきたいと思います。

### 《新型コロナウイルス感染症に伴う学級閉鎖について》

先週、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖を行いました。保護者の皆様にはご心配をおかけしましたが該当クラスの児童は元気に登校しています。学級閉鎖となったときに、いくつか問い合わせがありました。例えば、クラス全員がPCR検査をするのでしょうか? 陽性者は何人いるのでしょうか?などです。個人が特定されてしまう情報はお答えできませんが、ご心配な展がありましたら連絡をお願いします。

さて、今回の学級閉鎖に至る状況は、次のとおりでした。

- ・児童A：日曜日に新型コロナウイルス感染症の陽性という連絡を校長が受けました。
- ・児童B：日曜日に発熱し、月曜日に学校を休み検査の結果、陽性と判定されました。
- ・児童C、D：火曜日に体調不良を訴えて早退しました。
- ・上記の状況を学校医、町教育委員会と相談し、校長が**予防的措置**として判断を行い、水曜日から5日間学級閉鎖とさせていただきました。

**新型コロナウイルス感染症に伴う本校での学級閉鎖の基準は、次の2点と考えております。**

- ①**新型コロナウイルスに感染(陽性)したことが分からず、学校で教育活動を行った場合**
- ②**学校の教育活動外で新型コロナウイルスに感染(陽性)した診断を受けた児童が2、3名おり、学級内に体調不良の児童が複数いる場合(予防措置)**

**※今回の本校での学級閉鎖は、②の予防措置として判断をしました。**

本校の今までの感染症状況では、週明けの月曜日に多く連絡を受けます。学校では、今のところ感染が拡大したケースはありません。保護者の皆様には、引き続き、健康観察票に体温、健康状態の記入、そして感染症予防対策をお願いします。

なお、発熱して検査を受けた結果は、週明けの月曜日でも間に合います。月曜日に連絡ができない場合は、FAXでご連絡ください。FAX番号は「0493-74-5163」です。どうぞよろしくお願い申し上げます。